
公益社団法人日本交通政策研究会

日本の交通政策を振り返る

—政策志向経済学研究者の視点から—

岡野行秀先生 追悼シンポジウム

平成27年7月

このたび、公益社団法人日本交通政策研究会では、下記のとおりシンポジウムを開催いたしますので、ご関心をお持ちの皆様のご出席を賜りますようご案内申し上げます。

1. 開催趣旨

第2次世界大戦で壊滅的な打撃を受けたわが国の交通機関、交通施設は、幾多の試練・課題を抱えながらも、関係する人たちによる極めてエネルギーな取り組みにより復興を果たし、社会・経済生活に急速な発展をもたらしました。このような状況の中でどのような交通政策が採られたのか、その決定プロセスの中でいかなる議論のやりとりがあったのかを振り返るのは、今後の交通政策議論にとって重要なことです。とりわけ、総合交通体系に関する諮問・答申、国鉄改革論、道路政策に関する二本柱（有料道路制度と道路特定財源制度）をめぐる議論、規制緩和政策の具体論をフォローしておくことには少なからず意義があるといえるでしょう。

本研究会では、こうした交通政策の議論に長年に亘り貢献された岡野行秀先生（平成26年5月逝去）から若い世代の政策志向経済学研究者に託されたメッセージとして、日本交通政策研究会研究双書28『日本の交通政策—岡野行秀の戦後陸上交通政策論議—』岡野行秀・杉山雅洋（共著）を刊行しました。

本シンポジウムでは、岡野行秀先生の戦後の交通政策に関する議論・考え方を紹介するとともに、若手の政策志向経済学研究者を交え、将来の交通政策のあるべき姿について議論し、今後の政策議論の参考になることを期待しています。

2. 開催日時 平成27年9月25日（金）14:00~17:00

3. 開催場所 都市センターホテル（日本都市センター会館内） 7F 706号室

東京都千代田区平河町2-4-1 TEL: 03-3265-8211

アクセス：有楽町線〔麴町駅〕1番出口（半蔵門方面出口）より徒歩約4分
有楽町線・半蔵門線「永田町駅」4番・5番出口より徒歩約4分
南北線「永田町駅」9番出口より徒歩約3分
丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」より徒歩約8分
JR「四谷駅」麴町口より徒歩14分

4. 主催 公益社団法人日本交通政策研究会

5. 後 援 (一社)日本自動車工業会 (公財)高速道路調査会 (公財)日本道路交通情報センター
(一財)運輸調査局

6. 参 加 費 無 料

7. お申し込み

会場の入場者数には限りがございますので、おそれいりますが、当研究会ホームページ
(<http://www.nikkoken.or.jp/>) から9月23日までにお申し込みください。

8. 定 員 80名に達しましたら、締め切らせていただきます。

* 申込戴く方へ、お断りの連絡がない場合は定員内です。

9. プログラム

- 14:00~14:10 開会・挨拶
金本 良嗣氏 (日交研代表理事・政策研究大学院大学特別教授)
- 14:10~14:30 日交研研究双書 28 出版にあたって
杉山 雅洋氏 (早稲田大学名誉教授)
<リレー講演>
- 14:30~14:50 総合交通体系：太田 和博氏 (専修大学教授)
- 14:50~15:10 国 鉄 改 革 ：手塚広一郎氏 (日本大学教授)
- 15:10~15:30 道 路 政 策 ：味水 佑毅氏 (高崎経済大学准教授)
- 15:30~15:50 規制緩和政策：中条 潮氏 (慶應義塾大学教授)
- 15:50~16:00 休 憩 (10 分間)
- 16:00~17:00 パネルディスカッション：“日本の交通政策：戦後の経験から何を学ぶか？”
コーディネータ 山内 弘隆氏 (一橋大学教授)
パネリスト 奥野 正寛氏 (武蔵野大学教授)
杉山 雅洋氏 (前出)
太田 和博氏 (前出)
手塚広一郎氏 (前出)
味水 佑毅氏 (前出)
中条 潮氏 (前出)
- 17:00 終了

* 話題提供者との質疑応答を予定しております。

* プログラムは予告なく変更される場合があります。

お問い合わせ先

公益社団法人日本交通政策研究会 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-12-6 守住ビル 4 階

TEL : 03-3263-1945 E-mail : event@nikkoken.or.jp

FAX : 03-3234-4593 Website : <http://www.nikkoken.or.jp/>